

どうする？

どうなる？

公共施設の将来のあい方を 考える市民対話

〈戸町・小ヶ倉・土井首地区〉

第2回



◆対話の進めかた

第1回
6月29日(土)

- 施設の現状や見直しの必要性について知る

第2回
8月18日(日)

- 市が考える施設の配置の考え方に対して、意見や提案を行う

第3回
9月29日(日)

- 第3回までの対話を踏まえて市が検討した結果に対する意見交換
- 対話まとめ

地区に住んでいるからこそ知っている課題や実態などの意見



長崎市

地区別計画の策定

本日の流れ

- ◆ 前回の振り返りと、戸町・小ヶ倉・土井首地区の施設配置の考え方について説明(25分)
- ◆ グループワーク(45分)
- ◆ グループワークの発表と第2回まとめ(40分)
- ◆ 次回お知らせ

前回の ふいかえい



私たちのまわりで起きている変化



私たちのまわりで起きている変化

人口減少



少子化



高齢化
(長寿化)

ひとり暮らし
世帯の増加



自然環境
の変化



暮らしやすさを守るには？

人口減少

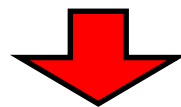


公共施設の
利用者の減少

なのに

公共施設の
量はそのまま

少子高齢化

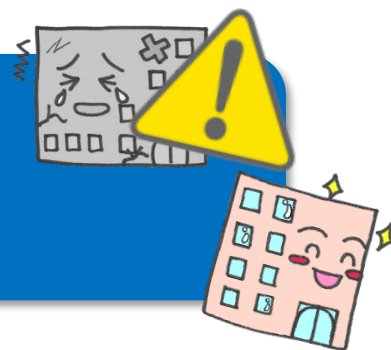
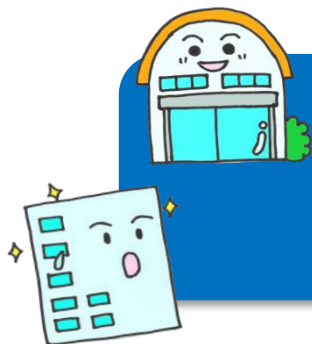


医療・介護など福祉
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の
修理に費用がかかる

どうしたらいいのだろう？



施設はそのまま維持できるの？

平成27年度から **今後30年間** の
「**建て替え**」や「**改修**」にかかる費用
不足額は… **879億円**



このままでは
今の施設すべての建替え・修理
はできません



前回出された意見

高齢化が進めば、地域のなかでコミュニケーションをとる機会は増える。そのため、地域の公共施設がより必要になってくる。

必要な**行政サービス**を提供し続けていく



公共施設を**多様な方法**で上手に活用して行政サービスを提供

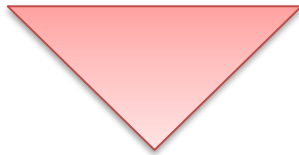
地域活動の場

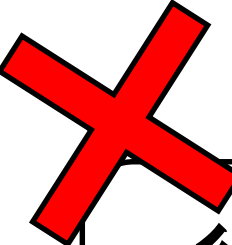


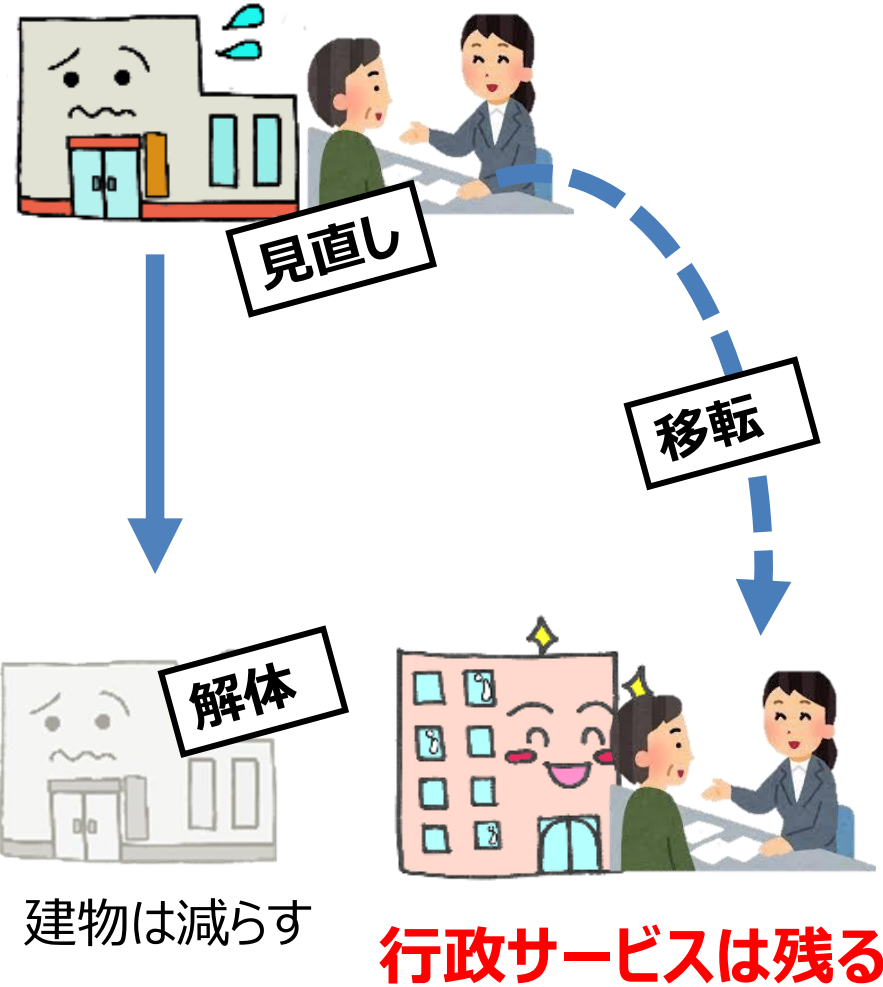
集約化

使い方の工夫

施設を見直すこと



 行政サービスをなくすこと



第1回 開催報告

【長崎市理財部資産経営室からののお知らせです】
 公共施設の将来のあり方を考える市民対話「戸町・小ヶ倉・土井首地区」

ご参加いただいた皆様、お礼申し上げます。
 開催日時：令和元年6月29日(土) 15:00~16:30
 開催場所：小ヶ倉地区ふれあいセンター
 参加者数：地域の皆さん 30人

1 いま起きている変化と状況

公共施設が古くなってきています
 ・市の公共施設(建物)の半分以上が築後30年以上経過し、施設の老朽化が進んでいます。修繕や増築などの費用がかかります。

人口減少・少子高齢化が進んでいます
 ・長崎市の人口は、2045年には約37万人に減少すると予測されています。それに伴い、施設の利用者も減少し、維持費が削減されていくことが予想されます。
 ・高齢者の増加に伴い、高齢者に適した施設が必要とされています。また、高齢者の増加に伴って、高齢者の利用が促進されることで、公共施設の利用率も向上すると考えられます。

人口は減少しているのに、施設は多いまま
 ・長崎市の人口(総人口)は、昭和59年(1984年)にピークを記録して以降、減少傾向が続いています。この減少傾向は、今後も続くことが予想されます。
 ・一方で、公共施設の総数は、増加傾向にあり、人口減少にもかかわらず、施設は多いままです。

人口の推移と人口の移り変わり
 ・長崎市の人口(総人口)は、昭和59年(1984年)にピークを記録して以降、減少傾向が続いています。この減少傾向は、今後も続くことが予想されます。

人口の推移と人口の移り変わり
 ・長崎市の人口(総人口)は、昭和59年(1984年)にピークを記録して以降、減少傾向が続いています。この減少傾向は、今後も続くことが予想されます。

2 時代の変化に対応できる公共施設の見直し

長崎市から、「いま起きている“変化”と状況」として、なぜ公共施設のあり方を見直す必要があるのかお話ししました。

建物の生涯に必要なお金
 ・建設費(土地代、設計費、工事費、材料費など)
 ・維持費(修繕費、管理費、電気代、水道代など)
 ・廃棄費(解体費、処分費など)

3 公共施設の上手な見直し方

長崎市から、どのように公共施設を見直していくかについて、お話ししました。

まずは大切なことは…
施設を見直すことは、行政サービスを無くすことではありません。

施設の維持とは、あくまでも施設のあり方や使い方を考えるということです。また、施設が持つべきサービスは、どこで行われていることではありません。

施設の見直しは、あくまでも施設のあり方や使い方を考えることです。また、施設が持つべきサービスは、どこで行われていることではありません。

施設の見直しは、あくまでも施設のあり方や使い方を考えることです。また、施設が持つべきサービスは、どこで行われていることではありません。

★グループでの話し合いで出された主な意見

- グループで話し合っていた内容について、班ごとに発表していただきました。
- 1班
 - 戸町地区ふれあいセンターは、手狭で駐車場も少なく、利用しにくい。そのため、コミュニティ活動の拠点にしたい。残してほしい。
 - 新戸町の市営住宅は老朽化が進み、バリアフリー化もされておらず、高齢者には厳しい状況だ。
 - 新戸町の市営住宅の建替えのときに、コミュニティ施設との複合施設にしてはどうか。
 - 子どもがボール遊びをできる遊び場が欲しい。場所がないので、こども道路への飛び出しが危険である。
 - 2班
 - 戸町地区ふれあいセンターは、駐車場が少なく集まりにくい。利用状況が良い。
 - 戸町小学校は古くなり、敷地も狭く、高低差もあり、運動場も二つに分かれてしまっている。駐車場もありなく、行事の準備などときに集まりにくいので、駐車場がある戸町中学校を使っている。
 - 小ヶ倉プールとおみず荘を合わせて風呂にしてはどうか。
 - 大型スーパーの近くに公共施設があると便利だ。近くの施設との組み合わせも考える必要があるのではないか。
 - 3班
 - おみず荘を避難所として活用できないか。
 - おみず荘は、風呂やそこでの活動を楽しみにしている高齢者がいるので、残してほしい。
 - 小ヶ倉プールは利用料金が安い。もう少し上げてもいいのではないか。
 - 放課後児童クラブおれんじキッズは、小ヶ倉小学校の校舎内に移動できないか。
 - 4班
 - 建物を壊して新しく造るのではなく、今あるものを使うという発想が大事だ。
 - ダイヤモンドふれあいセンターは駐車場がたくさんあるので利用者が多い。駐車場の有無は公共施設を考えるうえで大切なわけではない。
 - おみず荘は利用料金を取った方がいい。
 - 小ヶ倉プールは今のまま存続できないか。
 - 5班
 - 今回の対話で地区にある施設を初めて知った。
 - 公共施設は、駐車場がないとなかなか活用できない。
 - 土井首児童館は、利用することも多いが、手狭であり、伸び伸び遊べる屋内の施設がない。また、乳幼児が遊べる施設が少ない。
 - しらゆり荘は高齢者だけでなくみんなでも利用できる、もっと利用率が高まるのではないか。
 - 南市民センターは冷房代はもう少し安くならないか。

【講評】(アドバイザー：首都大学東京 磯崎 亮氏)

●知らない公共施設が多いという意見は、率直な意見だと思います。とはいえ、必ずしもその施設のニーズがないというわけではありません。利用している人たちもいるのです。まずは「知る」ことが大切です。公開されている情報、利用者との交流などを通じて、施設について知り、理解した上で、情報を共有しながら議論することが大事です。

●意見をひとつにまとめる必要はありません。公共施設のあり方やその利用の仕方について、色々な意見があるということを、みなさんと共有できる場にしてほしいと思います。

次回の対話では…

長崎市から 公共施設の基本的な配置の考え方 をお示ししたうえで、その考え方に対して、地域にお住まいだからこそわかる実情などを踏まえた、ご意見やアイデア等をお聞かせいただきたいと思います。

日時：令和元年8月18日(日) 15:00~17:00
 場所：小ヶ倉地区ふれあいセンター 第1研修室

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室 ☎直通：095-829-1412

かわら版

戸町・小ヶ倉・土井首地区の 公共施設の 配置の考え方



施設の分類

都市基盤施設 …… 市営住宅など

公用施設 …… 地域センター、消防署など

公園施設 …… 地区公園、街区公園など

学校 …… 小学校、中学校など

市民利用型施設 …… ふれあいセンター、スポーツ施設など

都市基盤施設

(都市のさまざまな活動を
支える基盤となる施設)

市営住宅



新戸町住宅



戸町住宅(借上)



小ヶ倉住宅



草住住宅



毛井首住宅

- ・人口減少、民間空家の増加
- ・市全体で住宅需要が減少



セーフティネットとしての役割を担いながら、集約建替えにより適正な管理戸数に見直す

市営住宅



新戸町住宅



戸町住宅(借上)



小ヶ倉住宅



草住住宅



毛井首住宅

- ・現在の建物を適正に管理
- ・大規模な改修や建替えが必要となるタイミングで、人口などの状況を踏まえ、規模を検討
- ・バリアフリー化も含めて検討

公用施設

(行政事務執行のための施設)

消防署

築年数



南消防署
築32年



南消防署土井首出張所
築37年

道路状況や隣接する消防施設の位置
などを考慮して配置

地域センター

築年数



小ヶ倉地域センター
築41年



土井首地域センター
築36年

身近な手続きや相談が
でき、地域のまちづくり
を支援する機能は、引
き続き必要

現在の施設を適正に管理

公園施設

公園



健康づくりのための
機能の導入



防災・避難等災害に
対応できる機能



魅力的な子どもの
遊び場の創出



スポーツ施設等の
利用環境の充実

公園



南部地区公園



えがわ運動公園



街区公園41か所

公園再整備の際には、社会状況の変化を踏まえながら公園毎の施設のあり方や機能分担、統廃合等の検討を行う

学校

小学校

築年数／児童数



戸町小学校
築64年／736人



小ヶ倉小学校
築61年／172人



南長崎小学校
築31年／223人



土井首小学校
築65年／451人



南陽小学校
築40年／300人

中学校

築年数／生徒数



戸町中学校

築59年／337人



小ヶ倉中学校

築29年／199人



土井首中学校

築49年／367人

市民利用型施設

(市民の皆さんが普段の生活の中で利用する施設)

スポーツ施設



都心部及び都心周辺部

九州大会や県大会等の大規模な大会に利用するための施設を配置

かきどまり陸上競技場、市民体育館、市民総合プールなど

各地区からの交通の便が良い場所

地域における生涯スポーツの推進やスポーツの競技力向上を図るための施設として、体育館や庭球場を配置

三和体育館、東公園コミュニティプールなど

スポーツ施設

地域の皆さんの身近なところ

- ・公園機能の一つとして配置されているグラウンドを継続して配置
- ・街区公園等の広場、ふれあいセンター等の軽スポーツ室の活用
- ・小学校の体育館や中学校の体育館、武道場、運動場を開放

スポーツ施設



築年数

築50年

利用者数

3,929人／年間

市民小ヶ倉プール

- ・老朽化している
- ・利用者が減少している



大規模改修が必要な
時点で廃止を検討

放課後児童クラブ

築年数／年間利用者数

たけのこクラブ(1・2組)
(戸町小)

築17年／888人



おれんじキッズ
(小ヶ倉小)

築16年／384人

たけのこクラブ(3・4組)
(戸町小)

築8年／852人

ほしのこらんど
(南長崎小)

築15年／600人

とまちクラブ
(戸町小)

築42年／420人



菜の花学童クラブ
(南陽小)

築40年／732人

子どもたちの放課後等
における安全・安心な
居場所を確保



小学校の適正配置と合
わせて事業者運営の
統合を働きかけていく

子育て関連施設



築年数

築40年

利用者数

5,516人／年間

土井首地区子育て支援センター 「みなみ」

戸町・小ヶ倉・土井首地区の子育て支援センターとして配置

現在の施設をこれからも活用していただく

『コミュニティ活動施設』について

コミュニティ活動に使える施設



児童館(遊戯室)

利用対象
18歳未満



ふれあいセンター(研修室)

利用対象
制限なし

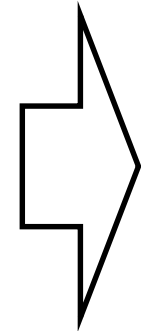


老人憩の家(集会室)

利用対象
60歳以上

使い方は
どれも

地域の身近な
活動の場



コミュニティ活動施設

『コミュニティ活動施設』について

使い方を見直す効果



空いている…

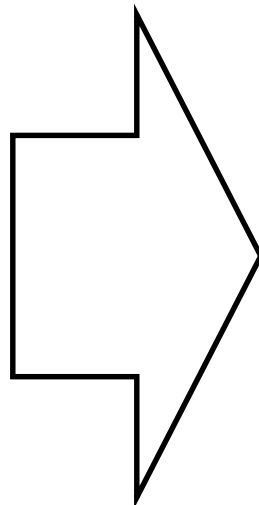
子ども専用



空いている…

高齢者専用

使い方を見直したら…



多世代交流ができる



集まりに使える



地域活動の場が増える



コミュニティ活動施設

市民に最も身近な場所でサービスを提供する施設は、概ね小学校区に配置

広いスペースや特定の設備が必要な施設は、概ね中学校区に配置

広域的利用施設は、長崎市の都市計画上の地域拠点または交通の便のよい場所に配置

市域全体から利用される施設は、交通の便のよい都心部及び都心周辺部に配置

コミュニティ活動施設

小学校区

身近な場所で気軽に
立ち寄れる施設

- 居場所
- 話し合いの場
- 活動の場
- 生涯学習の場



中学校区

多数の人数による活動
・行事等のための施設

- 居場所
- 話し合いの場
- 活動の場
- 生涯学習の場

小学校区にある施設
よいも広いスペース
・特定の設備

コミュニティ活動施設

中学校区

小学校区

- 集会室
- 和室
- 給湯室



- 集会室
- 会議室
- 和室
- 調理室
- 事務室兼図書室

概ね500㎡

戸町地区ふれあいセンター

戸町地区



築年数

築29年

利用者数

20,200人／年間

地域のみなさんが
様々な地域活動に利用



- ・現在の施設をこれからも活用していただく
- ・協議会事務所設置の検討

ダイヤモンドふれあいセンター

小ヶ倉地区



築年数

築20年

利用者数

41,508人／年間

地域みなさんが
様々な地域活動に利用



現在の施設をこれから
も活用していただく

小ヶ倉地区ふれあいセンター

小ヶ倉地区



築年数

築41年

利用者数

9,394人／年間

地域みなさんが
様々な地域活動に利用



現在の施設をこれからも
活用していただく

老人憩の家 おみず荘

小ヶ倉地区




築年数

築40年

利用者数

8,459人／年間

- ・老朽化している
- ・非耐震で、バリアフリーでもない
- ・近隣に同様の機能を持つコミュニティ施設がある

- 
- ・他のコミュニティ活動施設へ集約
 - ・入浴機能は代替策を検討

南部市民センター

土井首地区



築年数

築12年

利用者数

36,994人／年間

- ・地域に限らず、広い範囲からの利用
- ・南部には別の広域的利用施設がある



将来的に、南部地区で1か所配置

土井首地区ふれあいセンター

土井首地区



築年数

築36年

利用者数

21,746人／年間

- ・地域のみなさんが
様々な地域活動に利用
- ・近隣に地域活動に
使える施設がある

地域の皆さんの使いやすさなどを踏まえて集約を検討する必要がある

老人福祉センター しらゆい荘

土井首地区



築年数

築37年

利用者数

17,745人／年間

- ・高齢者を対象とした施設
- ・近隣に同様の機能を持つコミュニティ施設がある



地域の皆さんの使いやすさなどを踏まえて将来的に集約を検討する

土井首児童館

土井首地区



築年数

築36年

利用者数

11,643人／年間

・満18歳未満の児童
を対象とした施設



将来的に、子どもの居場所や遊び場について検討
する中で役割を見直す

施設を造ってきた、
施設を使ってきた、
わたしたちが“今”
見直すことが大切



ご意見や
アイデアを
お願いします



グループワークのルール

ルール1 みんなの意見をみとめよう



ルール2 みんなの意見は最後まで聞こう



ルール3 時間を守ろう



グループワーク

①長崎市の「配置の考え方」、 に対する意見やアイデアを考える

進め方

- 配置の考え方への意見やアイデア、質問をふせんに書き、模造紙に貼り付ける
- * 単に賛成や反対とするのではなく、提案や代わりとなるアイデアなどを、是非書いてください！

グループワーク

②意見のとりまとめ

「配置の考え方」に対する意見やアイデアについて、グループでまとめてください。



発表

③グループで話し合った内容を
代表の方に発表してもらいます

「配置の考え方」に対する意見やアイデア
について、グループワークの結果の発表を
お願いします。



●次回(第3回)の対話●

第1回
6月29日(土)

- 施設の現状や見直しの必要性について知る

第2回
8月18日(日)

- 市が考える施設の配置の考え方に対して、意見や提案を行う

第3回
9月29日(日)

- 第3回までの対話を踏まえて市が検討した結果に対する意見交換
- 対話まとめ

日時：9月29日(日) 15:00～

場所：小ヶ倉地区ふれあいセンター

**※配布された資料は、
第3回もご持参をお願いします。**

